

令和6年度 グループホームもくれん 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝朝礼にて法人の理念の唱和を行っている。理念に基づき職員間で共有し実践でつなげるように努力している。又社長から年度初めに社員に対し直接理念の意図を説明している。			年度初めに経営計画書を作成し配布、理念も記述しており、各自が持参して唱和を行っている。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	地域の夏祭りに今年度も参加、出店、させて頂いた。地域の方から野菜のおすそ分けも定期的にして頂ける。	感染症が落ち着いた時に地域行事に参加できるようになり良かった。		今年度、出雲医療看護専門学校の実習受け入れを行った。民生児童委員の見学も行った。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2カ月に1回は開催し報告行っている。地域の様々な立場の方の意見を聞きながらサービスに活かしている。	このところ運営推進会議の参加者が少ないので、地域の参加者が出席できるような調性を。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の担当者や地域の方々と情報交換が出来るよう日頃からつながりを大切にし、相談しやすい様な関係づくりになっている。			何か気になること、分からないことがあると相談するようにしている。お互いのパートナーシップが何より大切だと考えている。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関の施錠を含め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。研修を行ったり、会議やリーダー会、運営推進会議内にて振り返りも行われている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	具体的な拘束事例には含まれないが、全体的な「不当な行動制限」が無いように努めている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修を行い意識向上を図ったり、日ごろからケアの振り返りを行い、日常が虐待に当たらないか話し合いもしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待に繋がらないようにしていくためにも「言葉遣い」と「態度」が重要と考えている。研修をしたからよし、と言うものでもない。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	日常生活自立支援事業や成年後見制度などについては知らない職員も多い。学びの機会が必要である。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の際、重要説明書に基づきGHでの生活について丁寧に説明を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時、ご家族からお話を伺い、意見や要望があった場合は職員間で話し合いを行っている。ホームページやSNSにて情報発信している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者、ご家族や関係者からの相談や悩みに対しては速やかに対応している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議やユニット会議にて職員の意見や提案を聞く場を設け実践に繋げている。検討した際は社内のSNSやラインワークスを使い周知している。			職員からの相談については随時対応している。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の労働環境改善のため制度や仕組み作りに力を入れている。残業をしない取り組みや、職員のしたい事を現実に通じる様努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新しい人事制度が来年度から始まる中、それぞれのやりがいや将来的な給与予測について可視化出来るような仕組みづくりに取り組んでいる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修は不規則勤務でも都合の良い時間に閲覧可能なYouTubeで行い、会社全体で学習する機会を作っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間の研修計画に基づいて研修を実施している。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービスやケアの向上の意識をしていくため福祉用具さんにケアの相談、看護師や薬剤師に現状の相談をし、より良いケアを目指している。			外部とのつながりに関しては個々に委ねている場合が多いため、今後は様々なつながりの場面への参加を促す必要がある。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけ自分の事は自分でして頂き、主体的な力が引き出せるように支援している。			一緒にご飯を食べるなど、共に過ごし、共に暮らすことを大切にしている。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時には「ご家族フェイスシート」を記入して頂きご利用者の周囲の方々との関係の維持についても家族と相談している。現状に合っ			元々お住まいであった場所(住まいや地域)への外出などのアプローチが出来ていない。

				たルールで、ドライブや面会も出来る様に支援している。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の本人の言葉から希望や意思の把握に努めている。理念にある『利用者本位』に基づきお気持ちを大切にしている。			ご利用者ご自身が主体性を持って暮らして頂けることを大切にしている。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族にはお手紙で日頃の様子を伝え、意見交換も行っている。意見は職員間でも話し合い、計画、実行しより良い暮らしが出来る様に意識している	自己評価の目標にある LINE ワークスでの情報提供が出来るように頑張っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限り現状に即した介護計画を作成している。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別記録だけでなくラインワークスで情報共有し早い段階での実践の反映や介護計画の見直しに活用している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	LINE ワークスの活用により情報共有がよりスムーズになった。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関での通常通りの面会を行い、遠方や体調の悪いご利用者のご家族には面会時間の延長等、柔軟な対応を心掛けた。	上記と同じ。		個別に応じて柔軟に対応していくことを大切にしている。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方、駐在所の警察官、あんしん支援センター・コミセンの方々から情報交換行っている。美容院や図書館へも通われている。	情報の可視化が具体的に共有できるようにしていきたい。		地域資源は把握しているが活用は今一歩進んでいない。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望を伺い、ご家族の付き添いにて受診必要な方には受診もして頂いている。			必要に応じた診察が受けられるように調整している。

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	最新の情報提供書を作成し、医療機関へ速やかに持参している。電話での問い合わせがあった際は口頭にて状況を伝え情報交換を行っている。医療相談員とケアマネは良好な関係にある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	速やかな情報提供書の提出と出来る限り自事業所での受け入れに努めている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化された方に対しては早めの段階でご家族への報告・相談し方針を共有。チームで支援に取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後の生活について、ご利用者とご家族への早めの情報共有を行い、医療機関とも密に連携を図っている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の急変・事故発生時に備えて消防署の方から救命訓練を教わった。定期的に行えると良い。感染に対しての研修も行った。定期的に行っていきたい。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内での防火避難訓練、BCP訓練は行っているが地域の訓練は参加出来ておらず。	地域の訓練参加が困難であれば、施設内訓練に地元の方々への参加を促すと良いかも。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	BCP は策定済、災害から避難訓練や感染症発生時訓練など行う。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉遣いについては随意徹底。必要に応じてはその場で注意、必要であれば職員会議で振り返り行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	良いケアの前提として「言葉遣い」と「態度」は重要と認識している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日の流れは決まっておらず、その日の様子や天候で、個別や状況にそった支援が出来る様に声掛けしている。			開所以来、日課は設けずに運営してきた。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	味噌汁作り、お菓子作り、味付け、盛り付け、片付け、出来る事が沢山あるので生き生きされている。美味しく食べて頂ける様工夫している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の各事業所の食事について、LINE ワークスによる情報共有を進めたが、事業所間で内容に違いがあるため次年度は出来る限り平均化出来るようにしていきたい。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	タンパク質がより多く摂れるよう地元の魚屋から季節の魚を発注したり、形状も個々に対応している。水分についてはゼリーを作ったり、カロリー摂取出来る様な補助食品も使用。BMI の維持改善に気を付けている。			地元の魚屋に加えて肉も肉屋で発注をするようにしている。 食材費の高騰が大きな負担になっている。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科衛生士の指導やアドバイスあり。出来ない所の介助を行っている。清潔が保てるよう配慮している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の口腔ケアについての相談の他にも口腔内トラブルに際し、先ずは歯科衛生士に相談している。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれのタイミングを見て対応したり、サインを見逃さないようにしている。水分・運動について意識したり、便通に繋がるように食材を選んだりしているが、実際には多くの方が下剤使用され排便コントロールしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	下剤の使用が減らせること、トイレで排せつする機会が増えることなど、取り組んでいる。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の希望やタイミングになるべく合わせる様にしているが、入浴を好まれない方もいらっしゃる。無理強いよりも本人の納得を尊重している。			今後もお一人ずつの状況に合わせて入浴機会の提供が出来るように努めたい。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の生活状況・リズムを把握し、体調やご本人の好きな時間に休んで頂けるような声掛けをしている。夜間良眠されるよう、日中の活動の機会を設けるように努めている。			お部屋で過ごす時間も大切であり、それぞれの意向やお気持ちに沿った過ごし方を提案している。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤師居宅療養管理指導にて薬剤師に入ってもらい、日々相談し一緒に対応検討してもらっている。時には医師との間に入ってもらい適切な服薬の支援が出来る様協力出来ている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤師と連携、普段からのコミュニケーションの機会を大切にしている。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の楽しみや嗜好品を把握し興味を持たれることへのお誘いに心掛けた。役割がある事で、生き生きとした生活が出来る様支援を行っている。～したい事の実現に向け職員間で情報共有している。	したい事が出来た時の感動や達成感を持てるように支援を続けて欲しい。		ご利用者ご自身の主体性を大切に、動機づけを工夫していきたい。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	散歩を日課にされている方もいらっしゃる。図書館、美容院へと定期的に外出されている。	外出支援をするにはマンパワーが必要。		地域を散歩する、など先ずは地域の方の目に留まることから改めて始めていきたい。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	お金を所持されている方はおられず、預かっている方がほとんどである。希望に添える様買い物支援も取り入れて行きたい。			コロナ禍を経て買い物機会が無くなってしまっている。少しずつ機会を増やしていきたい。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	ご家族へ定期的に手紙や葉書を書かれている方もいらっしゃる。又、良く電話でお話される方もいらっしゃる。			手紙のやり取りは継続、お返事も書いて頂けると良いかと思う。テレビ電話なんかもお手伝いしていきたい。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	ご利用者が好みの場所で過ごされるよう居場所の配慮している。季節の花を飾ったり、生活感のある居場所の提供心掛けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	職員個々が意識してご利用される皆さんにとって良い空間となるように環境設定に努めている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	これまでの暮らし方、過ごし方を大切にしていける様な支援を心掛けている。			言葉だけではなく、これまでの暮らし方、生き方からご本人の意向を探って叶えていければと考える。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	本人、ご家族から得た情報をもとに出来るだけ近づける様心掛けている。ケアも伺いながら行っている。			まだまだ情報が足りていない、まとまっていないので、ご本人ご家族ともしっかりとコミュニケーションをとっていく必要がある。

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師、看護師、薬剤師、福祉用具など多職種も協力しチームケア出来ている。LINE ワークスを活用し情報共有している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	LINE ワークスを活用することで情報共有がしやすくなった。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分のペースで居室、共同スペース等お過ごしの方が多い。			自分のペースで無理強いはずせずに過ごしておられる。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔のアルバム、ご主人の写真など、大切にされている物を自室で持っていच्छやる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各人ご家族による工夫がなされている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	図書館に定期的に出かけられている方いच्छやる。又、施設周辺の散歩にも出掛けられる。夏祭りに参加する事が出来楽しんで頂けた。	継続していつて欲しい。		戸外へ行きたい要望について、出来る限り実現出来るように努めている。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る事は声掛けを行いして頂いたり、それを見守る事も皆さんの一つの役割や楽しみにしている。			それぞれに応じた役割や楽しみのある機会が提供出来ている。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔のお話や得意な事など、いきいきとお話して下さる。野菜切り洗濯干しやたたみ等、毎日の日課でして下さりいきいき活動されている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限りこちらは「聴く」スタンスを大切に、ご自分のことをしっかり話して頂く。また、かつての日課にあったような活動こそ大切にしている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近所の美容院へ通われている方がおり、交流する良い機会となっている。全体としては地域と関わり少ない為交流する機会を設けていきたい。	身近な地元行事から先ずは出かける、交流を深めるようにすると良いかと思う。		自分から・・・という機会は少ないため、今後は先ずは地域の皆さんの目に留まることから始めていきたい。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員とも馴染みの関係性が出来ており、安心した生活をしていただけている方が多く感じる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人と職員との信頼関係を最も大切にしている。その先に地域の方との安心した関係性があると考える。